

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	教育用コンテンツ奨励事業			担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者				
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	修学支援・教材課		修学支援・教材課長 山田 哲也				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育映像等審査規程			関係する計画、通知等	「教育の情報化ビジョン」(平成23年4月文部科学省)						
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	映画その他の映像作品及び紙芝居について、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定し、広く一般に普及することを通じて、教育に利用される映像作品等の質的向上に寄与すること。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	学識経験者による審査会を開催し、映画、DVD等の映像教材、紙芝居及びデジタルコンテンツについて、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定し、広く一般に普及を図る。										
実施方法	直接実施										
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	13	13	13	13	13				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		13	13	13	13	13				
	執行額		12	7	9						
	執行率 (%)		92%	54%	69%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		92%	54%	69%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	諸謝金		8	8	契約額の実績を反映						
	庁費		3	3							
	委員等旅費		2	2							
	計		13	13							
活動内容 (アクティビティ)	有識者が教育用コンテンツ審査会に出席するために必要となる謝金・旅費等の支出										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標		活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	教育用コンテンツ審査会の開催	教育用コンテンツ審査作品数	活動実績	件	102	65	95	-	-		
			当初見込み	件	159	125	106	125	125		
単位当たりコスト	算出根拠					単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	審査会実施に要した経費/審査会実施回数				単位当たりコスト	円	166,540	149,024	139,925	141,337	
					計算式	円/回	11,824,371/71	7,004,126/47	9,374,948/67	12,579,000/89	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度
	教育用コンテンツ事業のホームページアクセス数が前年度以上となること。	教育用コンテンツ事業のホームページアクセス数	成果実績	回	19,535	24,163	6,082	-	-		
			目標値	回	14,856	19,535	24,163	31,853	-		
			達成度	%	131.5	123.7	25.2	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文部科学省広報室調べ										
活動内容 (アクティビティ)	有識者が教育用コンテンツ審査会に出席するために必要となる謝金・旅費等の支給										

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	教育用コンテンツ審査会の開催	文部科学省選定及び特別選定となった作品数		活動実績	件	69	50	67	-
		当初見込み	件	107	85	74	85	85	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	審査会実施に要した経費／文部科学省選定及び特別選定となった作品数		単位当たりコスト	円	171,368	140,083	139,925	147,988	
		計算式	円/回	11,824,371/69	7,004,126/50	9,374,948/67	12,579,000/85		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	教育用コンテンツ事業のホームページアクセス数が前年度以上となること。	教育用コンテンツ事業のホームページアクセス数	成果実績	回	19,535	24,163	6,082	-	-
			目標値	回	14,856	19,535	24,163	31,853	-
			達成度	%	131.5	123.7	25.2	-	-

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	学校や地域社会において、優良なコンテンツの情報が求められており、ニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国民に広く利用される作品を選定するため、国が一元的に実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民に広く利用される作品を選定するため、国が一元的に実施する必要がある。また、本事業は「教育の情報化ビジョン」においてその必要性が示されるなど、政策の優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	支出額は、事業を実施する上で必要なものについて妥当性を考慮して算出しており、受益者たる国民への説明責任を十分果たせるものである。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	諸謝金単価表、旅費規程等の基準に基づいて支出している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業を実施する上で必要な支出に限られている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	令和3年度については、例年と比べて成果実績が極めて低調で目標値に大幅に達していないため、原因について分析を行うとともに、必要に応じて成果目標の見直しを行う。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	HPやメールマガジンなどで広く国民に周知している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は限られた予算の中で例年100件程度の作品を審査した上で選定(特別選定含む)しており、教育上価値の高い映像作品等を普及させるために一定の成果を上げている。	
	改善の方向性	今後更に学校教育・社会教育の現場において、教育上価値が高い作品の利用を促すため、メールマガジン等において、本事業を広く周知するとともに、申請作品数の増加を促すための取組を実施していく必要がある。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
改善
部内
改容

この事業は、令和3年度において成果実績が極めて低調で目標値に大幅に達していないため、原因について分析を行うとともに分析結果を踏まえて、事業の実施方法など現状の見直しが必要である。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年
善度
を内
検に

成果実績について、令和3年度のみ極端に低調であったことから、慎重に原因の分析を行いつつ、必要に応じて事業内容の更なる改善を検討していく。

備考

「教育映像等審査制度選定作品一覧」掲載アドレス
https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm
 「教育の情報化ビジョン」(平成23年4月文部科学省)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1387269.htm

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	0063			
平成24年度	0064			
平成25年度	0034			
平成26年度	0032			
平成27年度	0033			
平成28年度	0033			
平成29年度	36			
平成30年度	36			
令和元年度	文部科学省 - 0072			
令和2年度	文部科学省 0073			
令和3年度	文部科学省 0077			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
9.4百万円

庁費 1.3百万円

を含む
※庁費は会議費等であり、
1件百万円以上のものはない。

○ 教育用コンテンツ審査(教育映像等審査)に関する業務
学識経験者による審査会を開催し、映画、DVD等の映像教材、紙芝居及びデジタルコンテンツについて、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定。

【諸謝金】

A.委員(117名)
7.7百万円

教育映像等審査会
出席に係る謝金

【委員等旅費】

B.委員(117名)
0.4百万円

教育映像等審査会出
席に係る旅費

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.委員A			B.委員A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	教育映像等審査会出席に係る謝金	0.4	委員等旅費	教育映像等審査会出席に係る旅費	0.1
計		0.4	計		0.1

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	委員A	-	教育映像等審査会出席謝金	0.4	その他	-	--	
2	委員B	-	教育映像等審査会出席謝金	0.4	その他	-	--	
3	委員C	-	教育映像等審査会出席謝金	0.4	その他	-	--	
4	委員D	-	教育映像等審査会出席謝金	0.3	その他	-	--	
5	委員E	-	教育映像等審査会出席謝金	0.3	その他	-	--	
6	委員F	-	教育映像等審査会出席謝金	0.3	その他	-	--	
7	委員G	-	教育映像等審査会出席謝金	0.3	その他	-	--	
8	委員H	-	教育映像等審査会出席謝金	0.3	その他	-	--	
9	委員I	-	教育映像等審査会出席謝金	0.3	その他	-	--	
10	委員J	-	教育映像等審査会出席謝金	0.2	その他	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	委員A	-	教育映像等審査会出席旅費	0.1	その他	-	-	
2	委員B	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
3	委員C	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
4	委員D	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
5	委員E	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
6	委員F	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
7	委員G	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
8	委員H	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
9	委員I	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	
10	委員J	-	教育映像等審査会出席旅費	0	その他	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	